

今日も笑顔で

豊川市立桜木小学校

鬼頭 知江

「おはよう、〇〇さん、今日も元気なあいさつだね。」

あいさつと名前とプラス一言。それは、初任のときから三年間、私が一番大事にしている日課である。必ずクラスの全員と玄関か教室であいさつをする。たった一言だけど、私も子どもも、一日をハッピーに、笑顔でスタートさせる大事な時間だと思って取り組んできた。

五年生を担任していたとき、長い前髪とマスクで顔を隠し、フードをかぶる女の子がいた。あいさつをしても、私の前を素通りする。授業中



も調子が悪くなり、退席することが増えてきた。担任としては、気にかかる。すぐに、話を聞いたほうがいいと思った。

しかし、話を聞こうとしても、「相談事はない、何もない。」

と言いつ張った。そこで、あいさつのお話だけは、会話をしようと心がけた。

「〇〇さん、おはよう。今日の朝ごはんは何食べた？」

「〇〇さん、おはよう、昨日、係の仕事をしてくれてありがとうね。」

毎日あいさつするうちに、彼女のほうから、

「先生、今日の朝、家族のことでむかついてさ。」「友達とうまくいっていない。」

悩みを伝えてくれるようになった。日記にも、びっしり悩みを書いてくれるようになった。少しずつ心を開いてくれるような気がした。

「短所は、マイナス思考、やっても無意味、いつもそう考えていたけれど、プラス思考に考えていこうと思っています。」
彼女が前向きに話をしてくれたときの笑顔が今でも忘れられない。

今年の春、中学校の制服を着て、髪をばつさり切って明るくなった彼女が、「鬼頭先生、おはようございます。」
自分からあいさつをしてくれた。

先生になってよかった。彼女に出会えてよかった。そう思える瞬間だった。だいたいじょうぶ。きつと幸せになれる。今日も元気に。今日も笑顔で。先生はずっとあなたのことを応援しているよ。という気持ちを含めて、

「おはよう、〇〇さん。」

と私は言った。くると向きを変えて、中学校に向かう後ろ姿が力強い。これからは、彼女のように将来への一歩を歩むすべての子どもたちのために、一日のスタートを笑顔で迎えていきたい。